

フランス語ガイドオンライン研修終了報告

第一支部運営委員会

2020年6月25日から7月16日までの毎週木曜日の13:00-15:10、4回にわたり表記フランス語オンライン研修が実施されました。講師のAstrid PICHARDさんはフランス人女性で唯一の全国通訳案内士の仏語資格保有者です。参加者は関東地区のみならず、北海道、京都、大阪、兵庫、愛知、山梨からも参加され、累計で88人（会員84名、非会員4名）と委員2名が各回参加しました。参加者の中でも、18名は毎回参加され、参加者の皆さん、熱心に受講



し、活発な質疑応答をされました。毎回、ガイドにとって重要なテーマを扱い、6/25は日本食と築地場外市場のテーマでした。日本食の様々な名称のフランス語での表現を学び、更に、居酒屋のメニューを例に、どのように表現するかも学びました。

そして、築地場外市場の紹介ルートをお客様の特性毎にご紹介頂きました。

7/2は日本庭園と皇居東御苑がテーマでした。日本庭園の種類や、日本庭園に使われる池、橋、滝、灯籠、石、木々等々に関し、フランス語での表現を学びました。そして、実際にお客様をご案内する皇居東御苑の紹介ルートと、紹介する箇所の説明が詳しくあり、実際のガイドに即、役立つ内容でした。7/9は仏教と鎌倉のテーマで、まずは仏教について、その歴史と思想について、フランス語の表現を学びました。フランス人観光客は日本に来て、日本人はキリスト教には詳しいのに、仏教には詳しくないことに驚くとのことで、ガイドは仏教の基礎知識をよく勉強する必要があることを指摘されました。又、鎌倉での案内ルートと各寺院の説明をフランス語で学びました。最終回の7/16は神道と明治神宮のテーマで、神道に関するフランス語表現や、神道と仏教の違いとフランス語での表現の区別を学びました。又、明治神宮の案内ルートの紹介の後、フランス人には必ず紹介するという竹下通りの紹介ポイントの説明がありました。フランス人には、1980年代の竹の子族のファッションが今でも流行っていると思っている人が多く、現在は「kawaii」ファッションが主流に変わっていると説明するとのことでした。最後に表参道の紹介があり、特に、日本人デザイナーのブティックや建築等についてフランス人に興味のある箇所の案内がありました。

PICHARD講師は、フランス人にガイドする際に重要な7つのポイントを指摘されました。

①フランスや西洋との違いについての説明②ユーモア③お客様に何か言われても慌てず、冷静に (Ne pas se laisser déstabiliser) ④逸話を語る (Anecdotes)⑤自分自身のことを話す (Parler de soi)⑥お客様の考えを尊重する (Valoriser le client) ⑦自分の意見を持つ
今回、講師のご協力ですばらしい研修が実現でき、参加者の皆様から大いに感謝されました。